

光れ！そえひっ子



平成 21 年 2 月 15 日発行

連絡先: 電話 73-2312 FAX 73-2313 有線 2301 HPアドレス <http://www.school.umic.jp/soehi/>

新しく ^{にしまき}西牧 ^{ゆみ}裕美 先生がおいでになりました。

市教育委員会から、2月からの特別支援教育支援員の追加配当をいただき、西牧裕美先生に来ていただきました。2日(月)に全校集会で全児童に紹介し、さっそく授業の支援に入っています。原則として全クラスの授業に支援員として入ります。

さて、「特別支援教育支援員」制度については、すでに支援員が初めて配置された一昨年 12 月 1 日発行の学校だよりでお伝えしましたが、その一部分を改めて掲載させていただきます。



特別支援教育とは?・・・特別改正学校教育法が昨年より施行され、特別支援教育が制度化されました。

特別支援教育は、従来の盲学校、ろう学校、養護学校や 特別支援学級に在籍する児童生徒に加え、通常の学級に在籍しているLD、ADHD、高機能自閉症等により学習や生活について特別な支援を必要とする児童生徒を対象に、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行うものです。

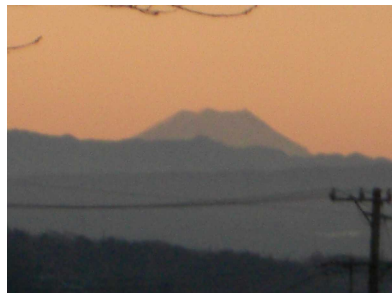
特別の支援はなぜ必要?・・・子どもたちの中には、集中することや、文字や数を読んだり書いたりすることがスムーズに育ちにくい子どもがいるのです。また、人への関心を持ち、人と共に生活する心や態度が育ちにくい子どももいるのです。

本人のせいでも、家庭や学校の努力不足でもありません。このような子どもたちは、一般的な指導法だけでは、「自分にはできない」「自分はダメな人間だ」と思ってしまう、持っている力も発揮できないばかりか、自信を失い、意欲も低下してしまいます。子ども本人が一番、苦しんでいるのです。

具体的な支援とその効果は?・・・授業中、支援の必要な児童(特定の子ではなく、その時、支援が必要であると見える児童が対象)の側に付いて、わかりやすく課題を説明したり、授業に集中できるように言葉かけをしたりするなどの学習支援を行っています。その間、担任の先生は、他の児童へかかわる時間を多く確保することができ、授業が進めやすくなっています。

トピックス 冬の寒い朝、校舎から見える富士山

「校舎から、富士山が見える...」



傍陽に長く住む方には当たり前のことかもしれませんが、新しく傍陽小に赴任している教職員には大きな驚きです。よく見えるのは、冬晴れの寒い日。身を縮めながら眺める富士山は、格別の気分で、身の引き締まる思いがします。

校舎の前には、百周年記念事業として建てられた句碑に「目に ふじを 心に 光を」と記されていますし、また、百三十周年記念誌「山風さやか」には、「『富士山の見える日は宿題なし』という学級もあり、子どもたちはベランダに出ては遠く南東の方角を見はるかす」という記事も見えます。

傍陽でも、こんなに富士山がよく見える場所は、実相院を除いて他にはないそうです。本当に、傍陽の一等地に学校が建てられていることを実感しますし、学校を現在地に決めた明治時代の方々が学校に寄せてくださった期待の大きさが伺われます。



6日(金)なかよし活動(縦割り班)の時間「真田氏カルタ」を楽しみました。



前号でもお伝えしましたが、傍陽小では「遊びながら日本の伝統に親しもう」と、冬の間、5,6年は「百人一首」を行うようになりました。そして、4年までは、「真田氏カルタ」に取り組むようになっています。6日のなかよし活動では、「全校ミニ『真田カルタ』大会」を開催、12に分かれた



縦割り班で6年生が中心となり、楽しみました。

学校からのお願い:「真田氏カルタ」を譲っていただけませんか

上でお伝えした「真田氏カルタ」を楽しむ活動ですが、カルタ作成時に当時の真田町からいただき、学校で保管・管理している「真田氏カルタ」は、困ったことに学級数分しかありません。今回、12セット必要ということで、真田地域教育事務所にも問い合わせてみましたが、「作成したのは平成10年(真田町発足40周年)で、当時の町民全戸に配布した。予備はもうない。」とのことで、子どもの家庭にお願いして、お借りしてなんとか数をそろえました。

今後、この活動を続けていく上で、「真田カルタのセットがもう少しあれば…」と思います。また、家庭には、「そんなものあったかな。」という家庭も多く、どこかに埋もれている可能性もあります。学校では、「この真田地域にしかない貴重なカルタだから、子ども達に続けて触れさせたい」と考えていますので、もし、「このカルタが家にあるが、使っていない」という方、学校にお譲りいただけないでしょうか…お譲りくださる方は、学校に連絡をお願いします。お待ちしております。

(電話: 73 - 2312 有線: 2301)

いよいよ年度末まとめの時期

に入りました。音楽集会では校歌の練習を始めました。入学以来、大きな行事には必ず歌う歌ですが、一年間まとめの時期、歌詞の意味をもう一度考えながら、校歌の練習をします。

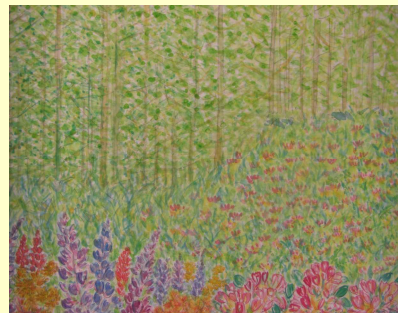


この日の全校音楽では、一年生が、校歌を披露してくれました。大きな口をあけて自信満々の元気な歌声でした。その声に負けないう、全校でイメージ画を見ながら、全校で歌いました。

校歌を指導する際に使っている校歌の「イメージ画」(本校図書館職員 作)



一番「山風さやか教室の～
まどべをわたるさわやかさ～」



二番「花はなやかにさきみちて～
カラマツにおうふるさとよ～」



三番「はるかに富士をあおがれて～
谷間谷間のしずけさに～」